

# 新潟県女性センター情報 No.76

2009. 11. 13発行

## 人材育成事業

非営利団体、行政、企業などで活動している人々に、メンバーのやる気と知恵をとことん引き出し、目覚ましい成果と高い満足感を得ると同時に、メンバーもチームも持続的に成長していける「自律型組織マネジメント」の基本を学ぶセミナーです。申込み・問合せは女性財団まで。

日時	内容・講師	会場等
1/16(土) 17(日) 10:00~16:00	チーム力を10倍高める 「自律型組織マネジメントセミナー」 講師：堀公俊(堀公俊事務所代表・組織コンサルタント)	【会場】新潟県女性センター 2階 女性団体交流室2 【定員】20人(先着順) 【受講料】20,000円

【保育】6か月以上 10人(先着順) 子ども1人1回400円 保育締切：12月27日(日)

★10月17、18日の「コンフリクト・マネジメント入門」は、2月10、11日に延期とさせていただきます。詳細が決まり次第お知らせします。

## 地域セミナー

12月から2月にかけて、様々な内容の地域セミナーが開催されます。各セミナーの詳細については、女性財団のホームページでご覧いただけます。

【柏崎市「地域でチカラを発揮する女性リーダーになろう」】	講師：川端美智子(新潟県女性財団事業コーディネーター)
日時：12月6日(土) 13:00~16:30	会場：柏崎市市民プラザ 201・202 学習室
【刈羽村 保育ヘルパー養成事業】	講師：角張慶子(新潟県立大学講師) 他
日時：1月23日(土) 24日(日) 10:00~15:00	【会場】刈羽村生涯学習センター「ラピカ」

## 講座レポート

燕市で6月から4回に渡り地域セミナーin燕『「女性と市長との懇談会」事前学習会』を開催しました。担当者からのレポートです。

11月14日に開催する「女性と市長との懇談会」に向けた学習会を、女性財団の地域セミナーを受け6月から10月まで4回開催。旧吉田町、分水町からも参加があり、延べ65人が参加されました。

男女共同参画社会についての基本的な考え方や女性の抱えている問題などを学習したり、話し方のコツを学んだりしてきました。女性たちの身近な生活の中からの声をしっかりと市長に伝えることができるよう、そして少しでもその声を市政に活かしてもらえるよう、参加者はがんばってきました。

今回は初めての参加者が多く、市長への提案課題がうまくまとまっていくのか、参加者も担当者も見当が付きませんでした。しかし、2回目のグループ分けでは、食育・環境・子育て施設・男女共同参画についてほどよく4つのグループが誕生しました。3回目のワークでは、課題が次から次へと出てくるグループや課題について想いのたけを話すグループなど、ワイワイと会場全体が熱気に溢れていました。なかなか課題がまとまらないグループもありましたが、女性財団の企画運営委員がファシリテーターとして関わり、課題を引き出すことができました。8月に行った市内施設めぐりでは、児童研修館「こどもの森」で、子どもと遊ぶ若いお父さんの姿を見て、男性も子育てに参加していることを実感しました。

4回目で課題をまとめ、プレ懇談会を行いました。課題をまとめるに当たっては、ワークの模造紙が大変役に立ち、参加者からは「提案した課題の流れが分かり、とても参考になった。」との声がありました。プレ懇談会では、市長役の大島理事長から提案課題について「男女共同参画の視点」などから講評をいただきました。その講評を参考に関係課に勉強会を申し込んだグループがあり、子育て支援に対する具体的な提案などが提出されました。自主的に取り組むことを導いてくださった女性財団に感謝申し上げます。

(燕市地域振興課 松井 梅)



## 保育ヘルパーグループ研修

新潟県女性財団では、一時保育を行っている保育ヘルパーグループの活動を支援しています。今年も実行委員とともに検討を重ね、研修会を企画しました。多くのグループの方が参加できるように県内3会場で下記の通り開催します。

	下越会場	上越会場	中越会場
日 時	12月1日(金) 10:00~12:00	12月4日(火) 10:00~12:00	12月8日(火) 10:00~12:00
会 場	新潟ユニゾンプラザ (新潟市中央区上所2-2-2)	上越市市民プラザ (上越市土橋1914-3)	ながおか市民センター (長岡市大手通2-2-6)
講 師	ちあい文々さん(子育てエッセイスト)		
タイトル	子育てに“寄りそう” ちあい文々「ほっこりカフェ」で出会う思い		
対 象	県内の保育ヘルパーグループで活動している人 各会場とも30名		
そ の 他	参加費無料		

## 相談室共催セミナー

新潟県男女平等推進相談室には、夫婦関係や男女関係など多くの相談が寄せられます。女性財団では、県と共催でココロとからだをテーマに学ぶセミナーを企画しました。“わたし”のココロとからだについて一緒に学んでみませんか？

日時	内容・講師	会場等
12/13(日) 13:30~16:30	「私をみがいて輝いて！ ココロとからだセミナー」 1部「私を知る」講師：勝井丈美(精神科医 県男女平等推進相談室こころの相談担当者) 2部「私をみがく」講師：伊藤千賀(Chikaプロモーション代表取締役)	【会 場】新潟県女性センター 女性団体交流室2 【定 員】25名【参加費】無料

## 中越大震災復興祈念事業

中越大震災直後、新潟県女性財団に「ふくい女性財団」から被災地の女性団体等へのお見舞い金が寄せられました。当財団では、女性被災者に対する支援に役立て

てほしいという「ふくい女性財団」の思いを伝え、お見舞い金を(財)新潟県中越大震災復興基金に寄付しました。この思いを受けた被災地の女性たちが実行委員会を立ち上げ、寄付金を活用して企画・実施した復興祈念事業について報告します。

去る10月24日に長岡市で「**忘れない。=女たちの震災復興=**」と題した、新潟県中越大震災5周年復興祈念事業が開催されました。基調講演は、神戸大学准教授の相川康子さんによる、『21世紀の「防災戦略」～女たちの視点から考える～』。約15年前の阪神・淡路大震災では明確な女性の視点はなかったが、新潟県中越大震災では、「内閣府より女性の視点担当者が派遣された」「早い時期から様々な体験などの記録をまとめ発信した」「復興計画や復興基金の配分に、いくらかでも女性の視点がいった」など女性の視点で防災・減災を考える最初の契機となりました。そこでの経験や教訓を発信することは、「次の被災地」は勿論、全国、世界に有益であると相川さんより心強いメッセージがありました。

シンポジウムでは、当財団の大島理事長がコーディネーターを務め、4人のパネラーと共に震災当時の体験などを振り返りました。長岡市国際交流センターの羽賀さんからは、中越大震災時の外国人支援の取組みがマニュアルとして作成され、全国に発信されているとのことがありました。災害が起きた時だけではなく、一人一人が「防災・減災」の意識を持ち行動していくこと、そして防災の分野でさらに男女共同参画の視点が必要であると実感した一日となりました。今回の取組みが記録集となることを楽しみにしています。

(新潟県女性財団 専門員 木村いほ子)

★「男女共同参画のためのネットワークリスト」を作成しています。各グループの団体の皆様には、調査にご協力いただき誠にありがとうございました。これからいくつかの団体取材させていただく予定です。ご協力をよろしくお願いいたします。

編集・発行／財団法人 新潟県女性財団

〒950-0994 新潟市中央区上所2-2-2 新潟ユニゾンプラザ2階／新潟県女性センター

TEL 025-285-6610 FAX 025-285-6630

E-mail npwf@npwf.jp ホームページ <http://www.npwf.jp>